

COUNTER準拠の使用状況データを管理

Almaは、COUNTERフォーマットでコンテンツプロバイダーによって提供される電子リソース使用状況の統計情報を収集し、報告することができます。これらのレポートへアクセスすることで、図書館員は機関内での使用を分析および理解するためのより多くのオプションを利用できます。COUNTERレポートは、Almaアナリティクスではさまざまな形式で、またAlmaユーザーインターフェイスでは特定のケースで表示できます。

COUNTER（ネットワーク接続電子リソースのオンライン利用を計数）準拠の利用統計については、<https://www.projectcounter.org/>次を参照してください。

多くのベンダーは、COUNTERレポートの形式で機関の使用状況に関するCOUNTER統計を提供できます。これらのCOUNTERレポートは、次の2つの方法のいずれかでAlmaにロードできます。

1. 手動アップロード（[COUNTERデータの手動アップロードと削除](#)を参照）
2. [SUSHI](#)プロトコル（標準化された使用統計収集イニシアチブ）を介して自動的にアップロード（収集）

SUSHIプロトコルを使用できるかどうかは、ベンダーがこのプロトコルに準拠しているかどうかに依存することに注意してください。

R5およびR4のSUSHIベンダーリストについては、[SUSHIベンダーリスト](#)を参照してください。

COUNTER R5レポートタイプ

COUNTERの使用状況データは、多くの異なるパッケージ済みタイプ（レポート）で提供されます。2025年1月現在、Almaは[COUNTERリリース5.1](#)に完全に準拠しています。説明中のプラットフォームはベンダーインターフェースを指します。リリース5以降、すべてのSUSHIレポートはJSON形式で返されます。

詳細については、[こちら](#)を参照してください。

サポートされているCOUNTERレポートタイプ

レポートタイプ	レポート名	説明	手動アップロード (xlsx、xls、csv、tsv、ssv、txt形式)	SUSHI Harvestまたは手動アップロード (JSON形式)
DR	データベースマスターレポート	データベースごとにアクティビティを詳述するカスタマイズ可能なレポートで、ユーザーはフィルターを適用でき、その他の設定オプションも選択できます。	Y	Y
DR_D1	データベース検索およびア	データベースの評価に必要な主要な検索、調査、およびリクエストのメトリックに関するレポート。	Y	Y

レポートタイプ	レポート名	説明	手動アップロード (xlsx、xls、csv、tsv、ssv、txt形式)	SUSHI Harvestまたは手動アップロード (JSON形式)
	アイテムの利用			
DR_D2	データベースへのアクセスが拒否されました	データベースのアクセスが拒否されました アクティビティに関するレポートで、同時使用ライセンスを超過したため、またはユーザーの 機関 がそのデータベースのライセンスを持っていなかったためにアクセスを拒否された場合のものです。	Y	Y
IR	拡張アイテムレポート	アイテム (記事、章、メディアオブジェクトなど) のレベルでのアクティビティを示す詳細でカスタマイズ可能なレポート。これにより、ユーザーはオンラインリソースにアクセスして、フィルターを適用したり、他の設定オプションを選択したりできます。	Y	Y
IR_A1	ジャーナル記事のリクエスト	記事レベルでのジャーナル記事リクエストに関するレポート。このレポートは、Data_Typeが記事、Parent_Data_Typeがジャーナル、Metric_TypesがTotal_Item_RequestsおよびUnique_Item_Requestsのコンテンツに限定されています。	Y	Y
IR_M1	マルチメディアアイテムのリクエスト	アイテムレベルでのマルチメディアリクエストのレポート。	Y	Y
PR	プラットフォームマスターレポート	コンテンツプロバイダーのプラットフォーム全体のアクティビティを要約するカスタマイズ可能なレポートで、ユーザーはフィルターを適用でき、その他の設定オプションも選択できます。	Y	Y
PR_P1	プラットフォームの利用	Metric_Typeごとに要約されたプラットフォームレベルの使用状況。	Y	Y
TR	タイトルマスターレポート	タイトルレベル (ジャーナル、書籍など) でのアクティビティを詳述するカスタマイズ可能なレポートでユーザーはフィルターを適用でき、その他の設定オプションも選択できます。	Y	Y TRレポートがカスタマイズされた場合、Almaはそれを収集しないため、手動でアップロードする必要があります。
TR_	書籍リ	ゴールド オープンアクセス コンテンツを除く、書籍のフルテキストアクティビティに	Y	Y

レポートタイプ	レポート名	説明	手動アップロード (xlsx、xls、csv、tsv、ssv、txt形式)	SUSHI Harvestまたは手動アップロード (JSON形式)
B1	クエスト (OA_Goldを除く)	関するレポートで、Total_Item_RequestsおよびUnique_Title_Requestsとしてのものです。Unique_Title_Requestsは、書籍プラットフォーム全体で同等の使用状況を提供します。Total_Item_Requestsは全体的なアクティビティを示します。ただし、サイト間の数は、コンテンツの配信方法 (例: 完全な書籍または章ごとに配信される) によって大きく異なります。		
TR_B2	書籍へのアクセスが拒否されました	書籍のアクセスが拒否されましたアクティビティに関するレポートで、同時使用ライセンスを超過したため、またはユーザーの機関がその書籍のライセンスを持っていなかったためにアクセスを拒否された場合のものです。	Y	Y
TR_B3	アクセスタイプ別の書籍の利用	書籍の使用状況に関するレポートで、Access_Typeで分類された該当するすべてのMetric_Typeを示すものです。	Y	Y
TR_J1	ジャーナルリクエスト (OA_Goldを除く)	ゴールドオープンアクセスコンテンツを除く、ジャーナルコンテンツの使用状況に関するレポートで、Total_Item_RequestsおよびUnique_Title_Requestsとしてのものです。Unique_Item_Requestsは、HTMLフルテキストが自動的に表示されてユーザーがPDFバージョンにアクセスする際に発生するインフレ圧力を減らすことによってジャーナルプラットフォーム全体で同等の使用状況を提供します。Total_Item_Requestsは、全体的なアクティビティを示します。	Y	Y
TR_J2	ジャーナルへのアクセスが拒否されました	ジャーナルコンテンツのアクセスが拒否されましたアクティビティに関するレポートで、同時使用ライセンスを超過したため、またはユーザーの機関がそのタイトルのライセンスを持っていなかったためにアクセスを拒否された場合のものです。	Y	Y
TR_J3	アクセスタイプ別のジャーナルの利用	Access_Type別に分類されたすべてのMetric_Typeのジャーナルコンテンツの使用状況に関するレポート。	Y	Y
TR_J4	YOPによるジャーナルリクエスト (OA_Goldを除く)	ゴールドオープンアクセスコンテンツを除くジャーナルコンテンツの使用を分析し、発行年 (YOP: Year Of Publication) 別に、Metric_Types Total_Item_RequestsおよびUnique_Item_Requestsの総計を提供します。バックファイルのコンテンツの使用状況を分析するために必要な詳細、または永続的なアクセス契約の対象となる詳細を提供します。COUNTERレポートは、アクセスモデルまたは永続的なアクセス権の詳細を提供しないことに注意してください。	Y	Y

COUNTER R4レポートタイプ

COUNTERの使用状況データは、多くの異なるパッケージ済みタイプ（レポート）で提供されます。Almaは、COUNTERリリースバージョンとデータ入力方法に応じて、次のタイプをサポートします（2017年5月現在）。説明中のプラットフォームは、ベンダーインターフェースを指します。

サポートされているCOUNTERレポートタイプ

レポートタイプ	説明	カウンタースource	手動アップロード（xlsx、xls、csv、txt、tsvフォーマット）	SUSHI採集または手動アップロード（xmlフォーマット）
BR1	ブックレポート：月とタイトル別の成功したタイトルリクエストの数	R4	Y	Y
BR2	ブックレポート：月とタイトル別の成功したセクションリクエストの数	R4	Y	Y
BR3	ブックレポート：月、タイトル、カテゴリ別のコンテンツアイテムへのアクセスが拒否されました	R4	Y	Y
BR4	ブックレポート：月、プラットフォーム、カテゴリ別のコンテンツアイテムへのアクセスが拒否されました	R4	Y	Y
BR5	ブックレポート：月とタイトル別の検索総数	R4	Y	Y
CR1	コンソーシアムレポート	R4	サポートされていません	サポートされていません
DB1	データベースレポート：月とプラットフォーム別の総検索数、結果クリック数、レコード表示数	R3	Y	Y
DB1	データベースレポート：月とプラットフォーム別の総検索数、結果クリック数、レコード表示数	R4	Y	Y
DB2	データベースレポート：月、データベース、カテゴリ別のアクセスが拒否されました	R4	Y	Y
JR1	ジャーナルレポート：月とジャーナル別の完了した全文記事リクエストの数	R3 / R4	Y	Y
JR1 GOA	ジャーナルレポート：月とジャーナル別の完了したゴールドオープンアクセス全文記事リクエストの数	R4	Y	Y
JR1a	ジャーナルレポート：月とジャーナル別のアーカイブからの完了したフルタイムの記事リクエスト	R3 / R4	Y	Y
JR2	ジャーナルレポート：月、ジャーナル、カテゴリ別のフルテキスト記事へのアクセスが拒否されました	R4	Y	Y
JR5	ジャーナルレポート：発行年（YOP）とジャーナル別の完了した全文記事リクエストの数	R4	Y	Y
MR1	マルチメディアレポート：月とコレクション別の完了したフルマルチメディアコンテンツユニットリクエスト	R4	Y	Y
PR1	月とプラットフォーム別の総検索数、結果クリック数、レコード表示数（以前はDB3）	R4	Y	Y

ユーザー役職の概要

次の役職のユーザーは、COUNTER準拠のユーザー統計に関連するタスクを実行できます。

- 受入管理者 - COUNTER購読者を設定し、自動採集ジョブを有効化、無効化、または手動で実行します。
- ベンダーマネージャー - 特定のベンダーに関連する使用状況データを表示し、ベンダーのデータを手動で採集し、ベンダーのデータを手動でアップロードし、アップロードされたデータファイルを管理します。
- 使用状況データオペレーター - 任意のベンダーのデータを手動でアップロードまたは削除し、アップロードされたデータファイルを管理し、行方不明COUNTERデータを表示します。
- 統括システム管理者 - 自動採集ジョブを有効化、無効化、スケジュール、または監視し、ジョブの履歴、レポート、およびイベントを表示し、ジョブの電子メール通知を設定します。

COUNTER購読者を設定

COUNTER購読者を設定するには、次の役職が必要です：

- 発注・受入オペレーター

大抵の場合、機関には1人の購読者がおり、機関の名前になっています。これらの場合、機関の購読者名に関してベンダーとの調整は必要はありません。

まれに、機関に複数の購読者がいます。これは、Alma Analyticsでデータをフィルタリングする追加の手段として使用されます。複数の購読者を効果的に使用するには、各電子リソースにアクセスしたキャンパスのIPアドレス範囲に従って、機関がCOUNTERベンダーと調整して、キャンパスごとに個別のレポートを送信する必要があります。この場合、機関はAlmaに複数の購読者を追加し、関連する購読者を使用して各レポートをアップロードします。

Almaでは、少なくとも1つの購読者を定義する必要があります。このドキュメントでは、購読者を1つだけ定義することを前提としています。

Note

データファイルを手動でアップロードする場合、購読者を含む複数のキーフィールド（ベンダー、日付など）が異なる場合、ファイルは新しいデータと見なされます。同じデータファイルを2回アップロードすると、最初のアップロードのデータが上書きされます。データ内の購読者を別の有効な購読者に変更すると、データは新しいデータとしてアップロードされます。

購読者は、購読者コードテーブルで設定します（設定メニュー > 受入 > 全般 > 購読者）。コードテーブルの詳細については、[コードテーブル](#)を参照してください。上記のように、少なくとも1つの購読者を設定する必要があります。

SUSHIアカウントを管理

SUSHIアカウントを設定するには、次の役職が必要です：

- ベンダーマネージャー

SUSHIアカウントにより、AlmaはベンダーからCOUNTERレポートを自動的に取得できます。各ベンダーおよび各レポートタイプごとにSUSHIアカウントを作成します。単一のベンダーは、レポートタイプごとに1つずつ、複数のSUSHIアカウントを必要とする場合があります。R5 SUSHIアカウントの場合、必要なレポートタイプのすべてに単一のアカウントを作成できます。

AlmaのProQuest、ProQuest Ebook Central、Alexander StreetPressのCOUNTER5 SUSHIアカウントを定義する方法については、[ここ](#)を参照してください。

認定ベンダーリストにベンダーを追加するには、[Ex Librisサポートチーム](#)へお問い合わせください。

リリース5.1のSUSHI認定ベンダーのリストについては、[SUSHI-認定ベンダーリリース 5.1](#)を参照してください。

リリース5のSUSHI認定ベンダーのリストについては、[SUSHI-認定ベンダーリリース 5](#)を参照してください。

リリース4のSUSHI認定ベンダーのリストについては、[SUSHIベンダーリスト](#)を参照してください。

Note

ベンダーからCOUNTERデータを取得するためにSUSHIアカウントを作成する必要はありません。ベンダーのSUSHIアカウントを設定するかどうかにかかわらず、ベンダーは、Almaに手動でアップロードするために、他の方法でCOUNTERデータを提供できます。

SUSHIアカウントは、ベンダーの詳細ページの使用状況データタブで管理します（[受入 > 受入インフラストラクチャー > ベンダー](#)、ベンダーの行アクションリストで[編集](#)を選択し、使用状況データタブを選択します）。

アップロード済みファイルセクションのレポート成功率列は、寄与したアカウントIDの失敗数で成功数を割った数として定義される、該当期間のレポートタイプに関する世界の成功率を示します。統計は、該当月の2か月前から計算され、SUSHIレポートが実行されてから約2日後に更新されます。番号は、関連するSUSHIアカウントの詳細ページにリンクしています。

Note

SUSHIアカウントを無効化または削除しても、このアカウント用にアップロード/収集されたAnalyticsの使用状況データは削除されません。

SUSHIアカウントを追加するには：

Note

以下の手順は、該当するベンダーの使用状況データでベンダーのアカウントを追加しなければならないことを示していますが、実際には、どのベンダーの使用状況データタブでもベンダーのアカウントを追加できます。SUSHIジョブが連絡するベンダーは、情報を入力するタブではなく、アカウントの設定時に追加するURLおよびその他の情報によってのみ決定されます。ただし、Ex Libris社はあなたが組織上の目的で、そのベンダーの使用状況データタブ上の各ベンダーのアカウントを追加することをお勧めします。

実際に他のベンダー（アクセスプロバイダーまたは出版物）のサブスクリプションエージェントであるベンダーの場合、各アクセスプロバイダーまたは出版物からの各レポートタイプには、各アクセスプロバイダーまたは出版物の追加のSUSHIアカウントが必要です。同じベンダーからの複数のレポートには、複数のSUSHIアカウントが必要です。

[ベストプラクティスツールキット: SUSHIプロトコルを介してCOUNTER使用データを自動的にアップロードおよび収集する](#)も参照してください。

-
1. 購読者が所属機関について定義されていることを確認してください。[COUNTER購読者を設定](#)を参照してください。
 2. **SUSHI**アカウントを追加を選択します。
 3. リリース5が有効になっている場合は、リリース4またはリリース5のいずれかを選択します。〔SUSHIアカウントの

詳細] ページが表示されます。

[SUSHIアカウントの詳細]ページ - リリース4

[SUSHIアカウントの詳細]ページ - リリース5

4. SUSHIアカウントにベンダー名を入力します。リリース5を選択した場合は、リリース5のベンダーのみがドロップダウンリストに表示されます。

このフィールドに3文字を入力すると、SUSHI認定ベンダーのドロップダウンリストが表示されます（このリストは Ex Librisによって事前定義されています。[SUSHIベンダーリスト](#)を参照）。このリストからベンダーを選択すると、ベンダーURLにベンダーの正しいURLが事前に入力されます（他の情報も事前入力される場合があります）。ただし、事前定義された認定ベンダーを選択する必要はありません。任意の値を入力できます。

Note

ベンダー名に「/」（スラッシュ）を含めることはできません。

ベンダーを検索するためのクイック選択リストオプションが利用可能です。

[検索でSUSHIアカウントをベンダーに追加](#)ビデオ（1分34秒）をご覧ください。

5. ステータスがアクティブの場合、このアカウントはスケジュールされた SUSHI 収集ジョブで収集されます。
6. リストからベンダーを選択していない場合は、ベンダーURLでURLを入力し、購読者で購読者を選択します。必要に応じて、URLを上書きでURLを入力します。URLを上書き、またはベンダーURLを入力する必要があります。SUSHI認定ベンダーのリストでSUSHIアカウントのベンダーURLが変更されると、ベンダーURLが更新されます。上書きURLは更新によって変更されません。「ベンダーURL」フィールドと「上書きURL」フィールドの両方が入力されると、Almaは最初に「上書きURL」を介して接続を試みます。
7. 連絡先情報に連絡先情報を入力します。通常、これはベンダーのURLまたはメールアカウントになります。
8. リクエスト詳細領域に必要な資格情報を入力します。一部の情報はすでに事前入力されている場合があります。ベンダーは、この領域に必要な情報を提供します。ベンダーは、APIキーフィールドの情報と資格情報を提供する必要があります。特殊なケースについては、[SUSHIベンダーリスト](#)を参照してください。接続の問題を回避するために、こ

のセクションにはベンダーから要求される情報のみを入力してください。

- リリース4のアカウントの場合は、レポートタイプを選択します。リリース5/5.1のアカウントの場合は、このアカウントに必要なレポートタイプごとにレポートタイプを追加するを選択します。レポートレベルのオプションは次のとおりです：
 - デフォルト — SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性で設定された値を取得します
 - Explicit yes**（明示的にはい） — SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性の設定に関係なく、この属性を送信します
 - Explicit no**（明示的にいいえ） — SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性の設定に関係なく、この属性は送信しません

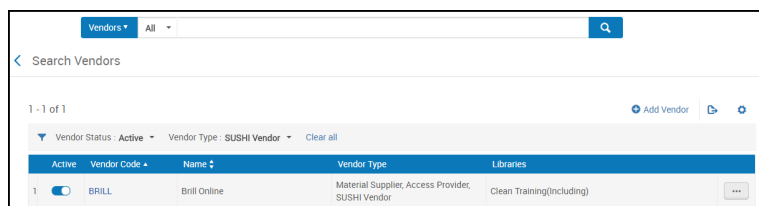
Note

COUNTER R5およびR5.1レポートでは、SUSHIハーベスティングで要求する追加の属性を選択することもできます。（2026年2月開始）これらの属性のデフォルト値は、**SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性**ページ（設定 > 受入 > 一般 > **SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性**）で設定できます。詳細については、[SUSHIハーベスティングのCOUNTER R5追加属性の設定](#)を参照してください。

- 接続をテストするには、「接続をテスト」を選択します。リリース4のアカウントの場合、エラーが発生した際にページの上部にエラーメッセージが表示されます。応答との接続をテストするを選択して、ベンダーとの間で送受信されたSUSHIリクエストと応答パッケージ（XML）の両方を含むZipファイルを表示できます。これらのパッケージは、接続のデバッグに役立ちます。リリース5のアカウントの場合、JSONファイルは接続ステータスと表示されます。エラーがある場合は、それも表示されます。また、それぞれの行アクションメニューからのレポートタイプごとに**応答との接続をテストする**を選択して、さらに起こりうるエラーを検出する必要があります。
- コミュニティゾーンにSUSHIアカウントを提供するには、以下を選択します。
- 完了したら、保存を選択します。アカウントが保存され、使用状況データタブに表示されます。

使用状況データタブのアカウント行でアクション > 削除を選択すると、アカウントを削除することができます。アカウントを削除しても、そのベンダーに関連付けられた過去の使用データは削除されません。Analyticsでは引き続き利用できます。

検索ページ（受入 > 受入インフラストラクチャ > ベンダー）で、テーブルにフィルターをかけて、ベンダータイプフィルタで**SUSHI**ベンダーを選択すると、SUSHI対応ベンダーのみを表示することができます。ベンダーは、SUSHIアカウントを持っていない場合でも、SUSHIに対応している場合があります。



[ベンダーを検索]ページ

SUSHI採集を管理

SUSHI採集ジョブを管理するには、次のいずれかの役職が必要です（詳細については以下を参照）：

- 発注・受入オペレーター
- ベンダーマネージャー
- 統括システム管理者

SUSHIの収穫管理について説明します。レポートの手動アップロードと削除については、[COUNTER データの手動アップロードと削除](#)を参照してください。デフォルトにより、

SUSHI 収集ジョブ [030スケジュールされたジョブの表示#Sushi_harvesting_job](#)は毎週実行され、タイムゾーンに応じて金曜の夜から土曜の朝までの範囲で実行され、全てのアクティブな SUSHI アカウントから全ての COUNTER データが収集されます。アップロード前に、Alma はデータベース内の重複データが存在するかどうかを確認します。これは、所有者コード（顧客 ID と機関 ID から構成）、加入者、プラットフォーム、出版社、測定タイプ、日付、およびデータタイプ（R5.1 のみ）という独自の組み合わせに基づいて行われます。レポートが後で利用可能になることを示す応答をジョブが受信すると、Almaはランダムな時間後にレポートの採集を自動的に再試行します。エラーが続く場合、その繰り返しが何度も試行され、試行が最大再試行回数に達するまで、毎回再試行間隔が長くなります。

自動SUSHIプロセス中に、過去12か月が収集されます。古いファイルを収集したい場合は、ベンダーに連絡して、手動で Alma に収集できるファイルを送信するようにリクエストする必要があります。

スケジュールを変更することで、毎週ではなく毎月ジョブを実行するように選択できます。毎月実行することを選択した場合は、実行する月の週を選択できます（5日、12日、19日、または26日を選択することにより）。

既知の問題！

COUNTER 5の場合、データの収集時にある特定の月がエラーを返すと、他の月が正常に収集されて使用されている場合でも、同じレポートのすべての月に同じエラーが表示されます。

実行できるアクションは、役職によって異なります。

- 受入管理者は、自動プロセスをアクティブ化、非アクティブ化、およびスケジュールし、手動でジョブを実行することもできます。
- ベンダーマネージャーとして、1つのベンダーアカウントに対してジョブを手動で実行し、これが実行された頻度の履歴を表示できます。
- 統括システム管理者は、ジョブの有効化、無効化、スケジュール、または監視、ジョブの履歴、レポート、イベントの表示、および作業の監視ページでのジョブの電子メール通知の設定を行うことができます。詳細については、[スケジュールされたジョブを表示](#)を参照してください。[実行中のジョブを表示](#)、[完了したジョブを表示](#)。

Note

- PR1レポートには、セル1Bおよび1Cに次のデータが含まれている必要があります。
 - セル1B - 月とプラットフォーム別総?索数、結果クリック数、レコード表示数
 - セル1C - 空

場合によっては、ベンダーはセル1Bおよび1Cに次の（誤った）データを含むPR1レポートを送信しています。

- セル1B - 合計?索数
- セル1C - 月およびプラットフォーム別の総検索数、結果クリック数、レコード表示数

この場合、SUSHI収集ジョブはエラーを報告します。ジョブレポートにエラーが表示される場合は、ベンダーから送信されたレポートを確認してください。上記の場合、データを修正してからレポートを手動でアップロードします。[COUNTERデータを手動でアップロード・削除](#)を参照してください。

SUSHI採集ジョブを受入管理者または統括システム管理者として管理するには：

1. 取得ジョブ設定ページへナビゲートします（[\[設定メニュー\]](#) > [\[取得\]](#) > [\[一般\]](#) > [\[取得ジョブの設定\]](#)）。
2. SUSHI収集ジョブ領域内で以下のいずれかのアクションを実行します：

受入ジョブの設定

- SUSHI 収集ジョブを無効化するには、インアクティブまたは、スケジュールに基づくを選択するかスケジュール未定を選択します。
- [アクティブ]を選択し、[スケジュール]でスケジュールオプションを選択して、SUSHI 収穫ジョブを開始します(週単位または月単位のジョブ実行のオプションがあります)。
- すぐにジョブを実行するには、今すぐ実行を選択します。

SUSHI収集ジョブをベンダーマネージャーとして管理するには：

1. [取得]>[取得 インフラ]>[ベンダー]へ移動します。
2. ベンダーの行アクションリストで「編集」を選択してください。
3. U使用状況データタブを選択してください。

ベンダー詳細

Note

SUSHIアカウントのデフォルトの順番は、IDの降順です。

4. 次のいずれかのアクションを実行します：

- **編集**- アカウントを編集します。
- **今すぐ収集**- ジョブをすぐに実行するには、このオプションを選択してから、**確認**を選択します。これにより、過去12か月間の使用状況が収集されます。リリース5のアカウントの場合、SUSHIアカウントを編集して、各レポートタイプを個別に収集することもできます。
- **カスタム収集** - 特定の日付範囲を定義します。収集する日付の範囲を複数追加することもできます ([「カスタム SUSHI収集」](#)を参照)。

- 履歴を表示 - これらのアカウント固有のジョブ実行の履歴を表示します。
- **R5.1**アカウントを作成する - 名前と収集URLを除き、R5 アカウントの情報をコピーした R5.1 アカウントを作成します ([SUSHIアカウント情報をR5からR5.1に移行する](#)を参照)。
- 削除 - アカウントを削除します。

「アップロードされたファイル」セクションへ使用状況レポートをアップロードすることもできます。ベンダーから受入したレポートを管理するには、行アクションリストから表示、ダウンロード、または削除を選択します。

File Name	SUSHI Account	Upload Date	Uploading User	Subscriber	Status	Data Description	Report Type	Data Start Date	Data End Date	Vendor URL	Report Success Rate
SUSHI_ProQuest_r_02_202411_65930	ProQuest	17 Dec 2024 06:51:36	SUSHI Scheduler	Alma Libraries	Fully processed	tr_j R5_1		Nov 2024	Nov 2024	https://sushi.proqu...	Download counter/R5
SUSHI_ProQuest_r_jl_202411_62899	ProQuest	04 Dec 2024 06:47:34	SUSHI Scheduler	Alma Libraries	Fully processed	tr_j R5_1		Jan 2024	Nov 2024	https://sushi.proqu...	Download counter/R5
SUSHI_ProQuest_r_jl_202312_62899	ProQuest	04 Dec 2024 06:47:11	SUSHI Scheduler	Alma Libraries	Fully processed	tr_j R5_1		Dec 2023	Dec 2023	https://sushi.proqu...	Delete counter/R5

Note

(使用状況データベンダーの詳細ページのタブや使用状況データローダページのアップロードされたファイルタブ) 削除された場合でも、ファイルをダウンロードすることができます。詳細については、[COUNTERデータの自動アップロードと削除](#)を参照してください。

SUSHIアカウント情報をR5からR5.1に移行する - ワークフロー

以下は、R5.1に移行する際の推奨ワークフローです：

Note

同じ期間の使用量が R5 アカウントと R5.1 アカウントの両方から収集された場合、重複や上書きが発生する可能性があります。

1. R5.1のサポートを開始するベンダーに関して聴取した場合には、「**R5.1アカウントを作成する**」アクションを使用して、このパブリッシャーの新しいSUSHIアカウントを作成します ([SUSHI H収集の管理 ベンダーマネージャーとして](#)を参照)。これはR5アカウントのフィールドを新たに作成された R5.1アカウントにコピーします。ただし、名前 (SUSHI アカウント)、ベンダー URL、オーバーライド URLを除きます。このベンダーのR5アカウントをお持ちでない場合は、「**SUSHIアカウントを追加**」を選択して、R5.1 アカウントを作成します。
2. 一旦アカウントが作成されたら、CZ リストから既存の認定 SUSHI ベンダーを選択するか、ベンダー名 (SUSHI アカウント フィールド) を入力します。ベンダーが CZ から選択されなかった場合は、オーバーライド URL を追加します。収集 URL への接続が機能することを確認したら、Alma コミュニティ全体のためにそれを投稿してください。以下の手順 7 を参照してください。
3. 必要に応じてフィールドを変更します。たとえば、顧客/依頼者の資格情報が R5.1において異なる場合などです。
4. アカウントに対して「テスト接続」アクションを使用して、且つ各レポートタイプについて応答を伴うテスト接続を使用して新しいベンダーをテストします ([SUSHIアカウントの追加](#)を参照)。
5. 接続が確認されると、このアカウントを使用して使用状況データを収集できるようになります。それを有効化して、

また重複を避けるためにベンダーの R5 アカウントを必ず無効化してください。

Note

新しく作成された R5.1 アカウントは、データの重複を避けるために、最後の R5 収集以降から収集を開始します (スケジュールされたジョブまたは「今すぐ収集」アクションを使用)。

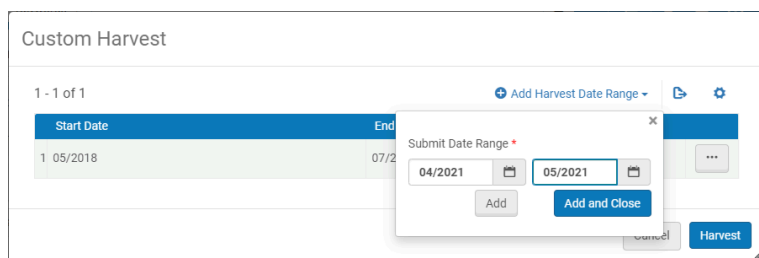
6. R5.1からの収集が成功したことを確認した後、以前のR5アカウントを無効にします (「[SUSHIアカウントの管理](#)」を参照)。
7. SUSHI アカウントを編集する際に [共有 (提供)] アクションを使用して、コミュニティゾーンの認定 SUSHI ベンダーリストに SUSHI アカウントを追加することをお勧めします ([共有](#)を参照)。

カスタムSUSHI収集

カスタム 収集オプションを使用すると、ユーザーはSUSHIデータを手動で収集しながら特定の時間枠を定義できます。これは、SUSHIリリースの5つのアカウントでのみ使用できます。既存の「今すぐ収集」機能は残り、過去12か月の使用量を収集しますが、新しい「カスタム収集」機能は、ユーザーが収集期間の正確な時間枠を定義できるポップアップウィンドウを表示します。「カスタム収集」操作は、SUSHIアカウント全体またはアカウント内の特定のレポートで実行できます。ユーザーは複数の収集時間枠を定義できます。

Note

選択した日付範囲に、以前にAlmaにアップロードされた数か月が含まれている場合、これらは上書きされます。



収集期限範囲

[特定の時間枠からSUSHIデータを収集する](#)のビデオ (1分18秒) をご覧ください。

使用状況データの表示

使用状況データを表示するには、次の役職が必要です。

- 利用統計データオペレーター

[月間使用状況データ] タブには、さまざまなプラットフォームからのすべてのSUSHI採集のステータス (成功/エラーのある完了/失敗) が表示され、顧客はその月の採集のステータスをすばやく理解できます。

使用状況データを表示するには：

- [アップロードされたファイル] タブで、目的のレポートを選択し、[ダウンロード] をクリックします。

詳細については、[利用状況データ](#)を参照してください。

File Name	Vendor	SUSHI Account	Upload Date	Uploading User	Subscriber	Status	Status Description	Report Type	Data Start Date	Data End Date	Vendor URL	Report Success Rate (0-100%)
Sushi_Royal Society_tr_11_2...	DMTL.COM	Royal Society	19 Jan 2020 11:55:17	Sushi Scheduler	Law Library	Fully processed	-	tr_11_R5	Jan 2019	Dec 2019	https://roy...	-
Sushi_Royal Society_tr_12_2...	DMTL.COM	Royal Society	19 Jan 2020 11:55:12	Sushi Scheduler	Law Library	Fully processed	-	tr_12_R5	Jan 2019	Dec 2019	https://roy...	-
Sushi_Royal Society_tr_201...	DMTL.COM	Royal Society	19 Jan 2020 11:55:05	Sushi Scheduler	Law Library	Fully processed	-	tr_R5	Jan 2019	Dec 2019	https://roy...	-

COUNTER使用状況データは、使用状況データローダーページの**毎月の使用状況データ**タブで購読者、プラットフォーム（ベンダーインターフェイス）、レポートタイプと測定、および月ごとに表示できます（[\[受け入れ\]](#) > [\[インポート\]](#) > [\[使用状況データの読み込み\]](#) で [\[毎月の使用状況データ\]](#) タブを選択）。不足している情報については、ベンダーにお問い合わせください。Aベンダーマネージャーは、データをアップロードし、ベンダーの詳細ページ（[受入](#) > [受入インフラストラクチャ](#) > [ベンダーの使用状況データ](#)タブを一度に**単一のベンダーのためのアップロード**を管理し、ベンダーの行アクションリストで**編集**を選択することができます）使用状況データタブを選択します。

Subscriber	Platform	Measured By	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
1 QA_SUB2	acs_publications	BR2 - Book sections views	🟢	🟢	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡
2 QA_SUB2	acs_publications	BR2 - Book sections views - PDF	🟢	🟢	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡
3 QA_SUB2	proquest	DR - Database Master Report - Unique Item Requests	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡	
4 QA_SUB2	proquestLebook_cent...	PR - Platform Master Report - Total Item Requests	🟢	🟢	🟡	🟡	🟡	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	
5 QA_SUB2	jstor	TR_13 - Journal Usage by Access Type - Unique Item Requests	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	
6 QA_SUB2	human_kinetics_journ...	PR1 - Records Views	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	
7 QA_SUB2	wiley_online_library	PR1 - Regular Searches	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	
8 QA_SUB2	taylor_francis	PR1 - Records Views	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	
9 QA_SUB2	proquest	DR_D1 - Database Search and Item Usage - Total Item Requests	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	🟢	

使用状況データローダー、毎月の使用状況データタブ

フィルタードロップダウンリストを使用して年またはレポートのタイプや測定を選択します（それぞれ年または測定項目）。少なくともいくつかCOUNTERデータがある年は、年フィルターに表示されます。

このページの列は次のとおりです。

- 購読者
- プラットフォーム
- 測定者 - レポートのタイプと測定値。測定者フィルタで何も選択しない場合、すべてのレポートタイプと測定値が表示されます。
- 1月 ..12月 - 年フィルターで選択された年の月のみが表示されます。緑のアイコン（



）は、使用状況レポートファイルが正常にアップロードされたことを示します。黄色のアイコン（



）は、ベンダーへの接続は成功したが、ベンダーはデータを送信しなかったことを示します。赤いアイコン（



）は、ベンダー接続の試行が失敗したことを示します。

COUNTERデータの手動アップロードと削除

COUNTERデータを手動でアップロードするか、アップロード後にこのデータを管理するには、次のいずれかの役職が必要です（詳細については以下を参照してください）：

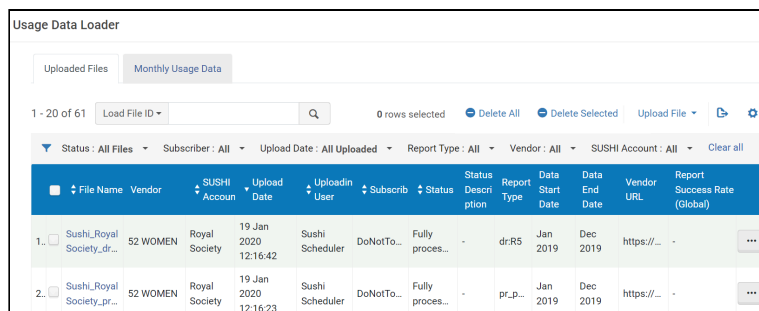
- 利用統計データオペレータ

必須形式

ベンダーからCOUNTERデータを送信して、Almaに手動でアップロードできます。アップロードするデータは次のいずれかの形式でなければなりません：**xlsx**、**xls**、**csv**、**txt**、または**tsv**。リリース4アカウントの場合、手動で**xml**形式のデータをアップロードすることもできます（[COUNTERレポートタイプ](#)を参照）。リリース5の場合、手動のデータアップロードではJSON形式のレポートが返されます。（レポートをAlmaにアップロードする場合にもJSON形式を使用できます。）

アップロード機能にアクセスする場所

使用状況データオペレーターは、使用状況データローダーページ（受入>インポート>使用状況データを読み込む）のアップロード済みファイルタブで、ベンダーのデータをアップロードしたり、全てのアップロードを管理することができます。



The screenshot shows the 'Usage Data Loader' interface. At the top, there are tabs for 'Uploaded Files' and 'Monthly Usage Data'. Below the tabs, there is a search bar and a table of uploaded files. The table has columns for File Name, Vendor, SUSHI Account, Upload Date, Uploadin User, Subscrib, Status, Report Type, Data Start Date, Data End Date, Vendor URL, and Report Success Rate (Global). Two rows of data are visible, both for 'Sushi_Royal Society' with '52 WOMEN' as the vendor and 'Royal Society' as the SUSHI account. The first row has an upload date of '19 Jan 2020 12:16:42' and a report success rate of 'dr:R5'. The second row has an upload date of '19 Jan 2020 12:16:23' and a report success rate of 'pr_p...'.

使用状況データローダー、[アップロード済みファイル]タブ

Aベンダーマネージャーは、データをアップロードし、ベンダーの詳細ページ（受入>受入インフラストラクチャ>ベンダーの使用状況データタブを一度に単一のベンダーのためのアップロードを管理し、ベンダーの行アクションリストで編集を選択することができます）使用状況データタブを選択します。

アップロード前にAlmaによって実行されるチェック

アップロードする前に、Almaは、所有者コード、購読者、プラットフォーム、パブリッシャー、メジャータイプ、および日付の一意の組み合わせに従って、重複するデータがデータベースに存在するかどうかを確認します（Almaの所有者コードは顧客IDと機関IDから構築されます）。データが重複していると見なされると、次の通知メッセージが表示されます。アップロードを続行すると古いデータが削除されます - 続行してもよろしいですか？続行すると、古いデータは新しいデータで上書きされます。SUSHI採集の場合（データが手動でアップロードされないため、スタッフのユーザーにメッセージが表示されない場合）、重複データは自動的に上書きされます。

ファイルのリロード

正常に実行されなかった場合は、ファイルをリロードします（リロード）。このアクションは、無効で部分的にロードされたSUSHIファイルに対してのみ表示されます。

[読み込めなかった使用状況データファイルをリロード](#)ビデオ（1分10秒）をご覧ください。

COUNTERデータを手動でアップロードする

データは収集プロセスを通じて自動的にAlmaにアップロードするか([SUSHIの収穫管理](#)を参照)、または以下の説明に従って手動で実行します。

COUNTERデータを手動でアップロードするには：

Note

[SUSHI採集を管理](#)で一部のベンダーからPR1レポート内のエラーに関する注意を参照してください。PR1レポートでこのエラーが表示される場合は、レポートをアップロードする前に手動で修正してください。

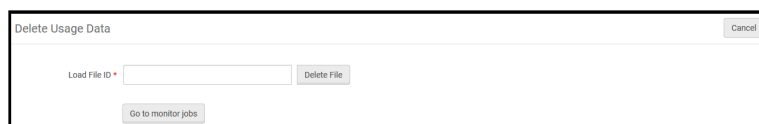
-
1. 使用状況データローダページ（使用状況データオペレーターとして）のアップロード済みファイルタブで、またはベンダーの詳細ページ（ベンダーマネージャーとして）の使用状況データタブで、ファイルのアップロードを選択し、次のように入力します。
 - 。ベンダー（使用状況データローダページのみ） - アップロードされたデータに関連付けられたベンダー。ベンダーはSUSHIベンダーである必要はないことに注意してください。
 - 。購読 - 購読者を選択します。
 - 。ファイルのアップロード - アップロードするファイルを参照します。ファイルには、Excelの10行目以降のカウンターデータがリストされている必要があります。
 - 。データの重複を許可する - チェックを入れると、システム内の既存のデータがアップロードされたファイルのデータに上書きされます。チェックされていない場合、データの重複がある場合はファイル全体が無視され、アップロードされません。
 2. ファイルをアップロードを選択します。ファイルがアップロードされ、データがAlmaにインポートされます。ステータスを含むファイルに関する情報が表に表示されます。

COUNTERデータを手動で削除する

使用状況データオペレーターは、[使用状況データの削除]ページのファイルIDに従ってデータを削除することもできます。これは、使用状況データがAlmaに移行され、（ファイルIDとともに）アナリティクスに表示される場合に役立ちます。COUNTERデータを一括削除することもできます。

ファイルIDに従って**COUNTERデータを手動で削除するには：**

1. 削除使用状況データページ（[取得](#) > [インポート](#) > [利用データを削除](#)）で、ファイルのIDを入力し、ファイルの削除を選択して、確認ダイアログボックスで確認を選択します。



利用データを削除

2. 使用状況データの削除ジョブが実行されます。ジョブを監視し、レポートを表示する方法については[完了したジョブを表示](#)を参照してください。

COUNTERデータを一括削除するには:

1. [使用状況データ] ページ ([アップロード機能にアクセスする場所](#)を参照)で、削除するレポートを選択し、**選択を削除**します。レポートが複数ページある場合は、ページ全体で複数のレポートを選択できることに注意してください。
2. 全ての行を削除するには、**全て削除**を選択します。

Note

表示されたレポートがフィルタリングされている場合、Almaはフィルタリングされたレポートのみを削除します。この機能は、使用状況データオペレーターの役職の人物のみ使用可能です。

